

水と歴史でつながる 伊賀城和(伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏



令和2年度の主な取り組みなど



伊賀市は、京都府笠置町・南山城村・奈良県山添村と定住自立圏形成協定を締結し、医療や防災、観光などを連携して事業に取り組んでいます。



◆圏域証の配布

新型コロナウイルス感染拡大に係る緊急事態宣言などにより、生活の維持のために必要な場合を除き、県境を越えた移動の自粛が要請されました。そこで、当圏域が県境を越えて生活圏を共有していることがわかるように「圏域証」を作成し、希望する圏域住民に配布しました。

当圏域は、買い物や通勤、通院などで県境を越える移動が日常となっている、生活圏を共有する一つの地域です。「圏域証」を車のダッシュボードなどに掲示することで、通勤や通院などの生活に必要な移動が、これまでどおりすることができ、圏域住民の「安心」に繋がりました。



◆圏域市町村長インタビュー動画の放送(令和2年9月)

ケーブルテレビ「ウィークリー伊賀市」、伊賀市公式YouTube「忍者市チャンネル」で、4市町村の首長による圏域住民へのメッセージ動画を放送・配信するとともに、圏域内の各町村でも同映像を公開しました。動画では、「圏域内市町村に期待すること」や「将来展望」について語っています。動画は「忍者市チャンネル」でいつでも視聴できますので、ぜひご覧ください。

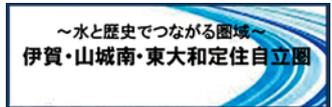


◆公共施設の相互利用の促進

圏域住民の利便性を向上させるために、圏域市町村の施設の相互利用の検討をしました。令和2年度は、伊賀市斎苑について、新たに圏域住民の使用料金の設定を行いました。今後も、各自治体の公共施設の相互利用を促進し、圏域住民の交流を図っていきます。

◆次期共生ビジョンの策定

「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」(通称：伊賀城和定住自立圏)では、圏域の将来像や、計画期間内の具体的な連携事業についてまとめた「共生ビジョン」に基づき、4市町村でさまざまな事業に取り組んでいます。現共生ビジョンは令和3年度で計画期間が終了するため、現在、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする次期共生ビジョンの策定に取り組んでいます。次期共生ビジョンにおいても4市町村で連携した取り組みを進め、魅力ある圏域をめざしていきます。



圏域クイズ

Q. 笠置町内には、木津川にかかる「笠置大橋」という橋があります。橋ができる前は、「渡し船」によって対岸へ往来しており、木津川の



水かさが増せば運航中止になるなど、人々は不便な思いをしていました。現在では、人や車が行き交い、日常生活や観光に欠かせない橋となっています。現在の「笠置大橋」は、写真のような鉄骨によるものですが、過去に複数回の架け替えが行われています。そこで問題です。現在の橋は何代目でしょうか。

- ①2代目 ②3代目 ③4代目

※答えは、10月号で発表します。



【問い合わせ】 総合政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672
✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



芭蕉翁記念館だより

雷と稲妻はよく似た現象ですが、その違いをご存じですか？雷はゴロゴロという雷鳴を伴って光りますが、稲妻は光るだけで音は伴いません。また、俳句の世界では、雷は夏の季語、稲妻は秋の季語です。

いなづまや闇の方行五位の声

伊賀で詠まれた芭蕉さんの稲妻の句です。五位とは五位鷲のこと。夜行性の鷲で、カラスのような声で鳴きながら飛んでいくことから「ヨガラス」とも呼ばれます。稲妻が光った直後の深い闇夜の空に、ただ五位鷲の声だけが響き渡る様子が浮かびあがります。

◆企画展「芭蕉たちの食卓」開催中

9月12日(日)まで

◆第75回芭蕉祭特別展「芭蕉～人を旅する～」開催予定

9月16日(休)～12月26日(日)

【問い合わせ】

- 文化交流課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
- 芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

公共交通を利用しましょう

かんべ北斗号が守る地域の暮らし

「運転免許証を返納した後、どうやって買い物や病院に行けばいいんだろう？」——将来必ず向き合う移動の問題に、地域運行バスという形で取り組んでいるのが神戸地区です。神戸地区



地域運行バス「かんべ北斗号」は、毎週火・金曜日に地域内7地区を運行するコミュニティバスです。2年9カ月の試験運行期間中、高齢者を中心に延べ4,457人が

買い物や通院に利用し、今年4月からは本格運行が始まりました。地域のニーズに寄り添う、地域による公共交通が住民の暮らしを支えています。

神戸地区が活用した「伊賀市地域運行バス導入ガイドライン」は市ホームページを、「かんべ北斗号」については神戸地区住民自治協議会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

JR 甲南駅舎が鉄道建築協会賞の佳作に！

(一社)鉄道建築協会主催の「令和2年度第65回鉄道建築協会賞」で、



JR 草津線甲南駅が佳作に入選しました。

入選理由は次のとおりです。

- 忍者屋敷を連想させる屋根を持つ形状の建築物と色彩が、地域の景観によく溶け込んでいる。
- 日本の伝統的家屋をイメージする化粧柱に、屋根から地面へ垂直に取り付けた樋を内蔵するなど細やかな工夫がされている。

忍びの里にふさわしく、随所に忍者のデザインが取り入れられています。甲賀市にお立ち寄りの際にはぜひ駅舎をご覧ください。

※詳細は、鉄道建築協会ホームページをご覧ください。



【問い合わせ】 甲賀市都市計画課 都市基盤整備室 ☎ 0748-69-2205 FAX 0748-63-4601

亀山市

亀山ブランド 初認定！ ～魅力あふれる亀山市産品～

亀山市は、特産品を通して亀山の魅力を発信していくために、「亀山ブランド」の創出に取り組んでいます。

1回目となる本年度、特色ある文化、豊かな自然環境などが育み、市内事業者により生産・製造または販売されている産品として申請された中から、17品目を亀山ブランドに認定しました。

認定された産品は、亀山市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【問い合わせ】

亀山市産業振興課商工業・地域交通グループ ☎ 0595-84-5049

